

生命保険見直し術 — 法人契約編



前回までは、個人契約の見直しについてご紹介させていただきました。つづいて今回は、会社で加入されている法人契約の見直しについて、紹介させていただきます。今回の見直しは、10年更新型の定期付終身保険から全額損金でも解約返戻金が多く発生するプランへの切り換えです。



◆ 既加入の定期付終身保険 … 定期特約は全額損金で掛け捨て、終身保険は全額資産で積立型です。

契約内容		保険期間	
主たる保険契約(終身保険)	保険金額 5,000,000円	終身	*
内転換部分	保険金額 ① 668,800円	終身	*
定期保険特約	特約保険金額 95,000,000円	平成17年 8月 2日	更新(60歳)
内転換部分	特約保険金額 [12,706,800円]	平成17年 8月 2日	更新(60歳)
災害時特約	特約保険金額 15,000,000円	平成17年 8月 2日	更新(80歳)
災害時特約	災害保険金額 5,000,000円	平成17年 8月 2日	更新(80歳)
災害時特約	入院給付日額 8,000円	平成17年 8月 2日	更新(80歳)
災害時特約	入院給付日額 8,000円	平成17年 8月 2日	更新(80歳)
災害時特約	入院給付日額 5,000円	平成17年 8月 2日	更新(80歳)
災害時特約	入院給付日額 8,000円	平成17年 8月 2日	更新(80歳)
災害時特約	入院給付日額 3,000円	平成17年 8月 2日	更新(80歳)
その他	通院給付日額		

保料	専回払込額 44,064円 保険料払込回数(年12回) ②	保険料口座振替特約付
内訳	主たる保険契約部分 8,208円	
	特約部分 35,856円	

○主たる保険契約の保険料払込期間経過後に払込すべき特約の保険料は、主たる保険契約の保険料払込期間中に一括して前払することを要します。

- ① 現在の保障は10,000万円。このうち終身保険500万、定期特約9,500万です。定期特約は掛け捨てです。
- ② 現在の保険料は月払で44,064円。このうち終身8,208円、定期特約他は35,856円です。定期特約や入院特約は10年更新型。保険料は10年ごとにアップし、10年後に約8万、20年後に約16万になります。

改善策

むだの多い定期付終身を見直し、保障と積立のバランスの取れたプランを提案

◎もとの保険の保険料の範囲内で、見直しプランに切りかえます。

◆ 見直しプランは定期保険(全額損金最長型・高返戻タイプ)

- ・ 期間33年の長期定期保険です。10年更新型とは違い中途で高額の返戻金があります。
- ・ 保障は 病気死亡5,000万 災害時10,000万、入院7,000円です。
- ・ 保険料は全額損金算入できます。

- ① 同じ保険料で保障は半減しますが、保険期間の経過に応じて高額の解約返戻金が発生します。
 - 例) 10年めに解約された場合 2,956,828円
 - 例) 15年めに解約された場合 4,260,320円

- ② 保険料は、ずっと一定です。月払43,904円を33年間で。

★ 全額損金にもかかわらず、高額の返戻金が発生します。これが簿外資産として有効なファンドになります。返戻金は退職金や、緊急の事業資金としてご活用頂けます。これは見直しのほんの一例です。詳しくは当事務所までご相談下さい。

担当 洪木 洋子



次ページ